

平成31年
(2019年)
3月22日

病害虫発生予報 4月号

茨城県病害虫防除所
茨城県植物防疫協会

農作業事故が増加する季節です
～転落・転倒・挟まれに注意！～

< 目次 >

I. 今月の予報

【注意すべき病害虫】

イチゴ：ハダニ類	1
促成ピーマン：斑点病	1
促成・半促成ピーマン：うどんこ病	2
促成トマト・促成キュウリ：灰色かび病	2
促成キュウリ：うどんこ病	3

【その他の病害虫】

イチゴ，促成・半促成ピーマン，促成キュウリ，春ハクサイ，春レタス	4
----------------------------------	---

【防除所レポート】

チャバネアオカメムシの越冬状況（平成31年2月調査）	5
キュウリのミナミキイロアザミウマに対する有効薬剤について	6

II. 今月の気象予報 7

最新の農薬登録内容は、(独)農林水産消費安全技術センターホームページの「農薬登録情報提供システム」(http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)で確認することができます。

詳しくは、病害虫防除所へお問い合わせ下さい。

茨城県病害虫防除所 Tel :0299-45-8200

予報内容は、ホームページでも詳しくご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nosose/byobo/>

<HP QRコード>



I. 今月の予報

【注意すべき病害虫】

イチゴ

1. ハダニ類

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
—	平年並～やや少ない	県下全域

[予報の根拠]

- ① 3月中旬現在、寄生葉率（本年値 13.6%，平年値 22.6%）は平年並～やや低く、発生地点率（本年値 60%，平年値 66%）は平年並である。

[防除上注意すべき事項]

- ① ハダニ類は増殖が速いので、発生の少ないうちに防除を徹底する。
② 薬剤散布は、薬液が葉裏や葉柄にもよくかかるよう十分な量で丁寧に行う。また、気門封鎖剤以外については、薬剤抵抗性の発達を抑えるため、IRAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する。なお、薬剤散布は、古い下葉を除去してから行うと効果的である。
③ ミツバチや天敵を使用する場合は、薬剤の影響日数等に十分注意する。

促成ピーマン

1. 斑点病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
—	多い	鹿行地域

[予報の根拠]

- ① 3月中旬現在、発病度*（本年値 13.8，平年値 5.5）は平年より高く、発生地点率（本年値 50%，平年値 48%）は平年並である。

※発病度：病斑をもとに算出した数値、最小値は0で最大値は100となる。

[防除上注意すべき事項]

- ① 多湿条件で発生しやすいため、整枝、換気等によりハウス内の湿度を低く保つ。
② 発生が多くなると防除が困難になるため、初期防除を徹底する。
③ 罹病部はできるだけ取り除き、ハウス外に持ち出して適切に処分する。
④ 薬剤散布は、薬液が葉裏にもよくかかるよう十分な量で丁寧に行う。また、薬剤耐性菌の出現を防ぐため、FRAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する。
⑤ 天敵を導入している場合は、影響が小さい薬剤を選択する。

促成・半促成ピーマン

1. うどんこ病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
—	平年並～やや多い (促成ピーマン)	鹿行地域
	平年並 (半促成ピーマン)	

[予報の根拠]

- ① 3月中旬現在，促成ピーマンにおける発病度^{*}（本年値 7.8，平年値 5.0），発生地点率（本年値 50%，平年値 39%）ともに平年並～やや高い。
※発病度：病斑をもとに算出した数値，最小値は0で最大値は100となる。
- ② 3月中旬現在，半促成ピーマンにおける発病度（本年値 0.5，平年値 1.3）は平年並，発生地点率（本年値 25%，平年値 14%）は平年並～やや高い。

[防除上注意すべき事項]

- ① 発生が多くなると防除が困難になるため，初期防除を徹底する。
- ② 罹病部はできるだけ取り除き，ハウス外に持ち出して適切に処分する。
- ③ 薬剤散布は，薬液が葉裏にもよくかかるよう十分な量で丁寧に行う。また，薬剤耐性菌の出現を防ぐため，FRAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する。
- ④ 天敵を導入している場合は，影響が小さい薬剤を選択する。

促成トマト・促成キュウリ

1. 灰色かび病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
—	平年並（促成トマト）	県下全域
	平年並～やや少ない (促成キュウリ)	

[予報の根拠]

- ① 3月中旬現在，促成トマトにおける発病株率（本年値 3.1%，平年値 6.6%），発生地点率（本年値 33%，平年値 38%）ともに平年並である。
- ② 3月中旬現在，促成キュウリにおける発病株率（本年値 0%，平年値 1.5%），発生地点率（本年値 0%，平年値 19%）ともに平年並～やや低い。

[防除上注意すべき事項]

- ① 多湿条件で発生しやすいため，送風，換気等によりハウス内の湿度を低く保つ。
- ② 花落ちが悪く残った花卉や罹病部はできるだけ取り除き，ハウス外に持ち出して適切に処分する。
- ③ 薬剤散布は，薬液が葉裏にもよくかかるよう十分な量で丁寧に行う。また，薬剤耐性菌の出現を防ぐため，FRAC コードの異なる薬剤を用いてローテーション散布する。
- ④ 曇雨天が続き薬液が乾きにくい場合は，くん煙剤を利用する。

促成キュウリ

1. うどんこ病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
—	平年並～やや多い	県下全域

[予報の根拠]

- ① 3月中旬現在、発病葉率（本年値 8.1%，平年値 6.1%）は平年並～やや高く、発生地点率（本年値 40%，平年値 49%）は平年並である。

[防除上注意すべき事項]

- ① 例年春先から発生が増加し、多発すると防除が困難になるため、初期防除を徹底する。
- ② 罹病部はできるだけ取り除き、ハウス外に持ち出して適切に処分する。
- ③ 薬剤散布は、薬液が葉裏にもよくかかるよう十分な量で丁寧に行う。また、薬剤耐性菌の出現を防ぐため、FRAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する。

水稲における紋枯病の防除対策について

過去 2 か年、病害虫防除所が調査している水稲圃場において、紋枯病の発生が多い傾向にありました。紋枯病は、前年のイネの病斑上に形成された菌核が圃場にとどまり次作の伝染源となるため、毎年同じ圃場で発生しやすい傾向があります。昨年、発生が多かった圃場では特に注意して対策を行いましょう。

[特徴]

前年の被害株や畦畔等の罹病雑草に形成された菌核で越冬し、伝染源となる。菌核は代かき時に水面に浮上し、株元に漂着する。気温が上昇し、株間の湿度が高くなると、菌核から発芽した菌糸が伸長して葉鞘内に侵入し始め、楕円形病斑をつくる。本病にかかると、下葉からしだいに枯れ上がり、稲の茎が弱くなって倒伏しやすくなる。

[防除上注意すべき事項]

- ① 代かき時の浮遊物に菌核が混入しているので、畦畔沿いにたまったごみを取り除く。
- ② 常発圃場では育苗箱施用剤を使用する。
- ③ 窒素肥料の多用を避け、過繁茂にならないようにする。

【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予測	発生概況及び注意すべき事項
イチゴ	灰色かび病	発生量：平年並	3月中旬現在，平年並の発生である。
	うどんこ病	発生量：平年並 ～やや少ない	3月中旬現在，平年並～やや少ない発生である。
	アザミウマ類	発生量：やや多い	3月中旬現在，平年よりやや多い発生である。
	アブラムシ類		
促成・半促成 ピーマン	アザミウマ類	発生量：平年並	3月中旬現在，促成ピーマンでは平年並～やや少ない発生であり，半促成ピーマンでは平年並の発生である。
促成 キュウリ	褐斑病	発生量：平年並 ～やや少ない	3月中旬現在，平年並～やや少ない発生である。
	べと病	発生量：やや少ない	3月中旬現在，平年よりやや少ない発生である。
	アザミウマ類	発生量：やや少ない	3月中旬現在，ミナミキイロアザミウマは平年並～やや少ない発生であり，ミカンキイロアザミウマは平年よりやや少ない発生である。
春 ハクサイ	白斑病	発生量：やや多い	3月中旬現在，平年よりやや多い発生である。
	アブラムシ類		
春 レタス	菌核病	発生量：平年並	3月中旬現在，平年並の発生である。
	腐敗病		

チャバネアオカメムシの越冬状況（平成31年2月調査）

ナシ、カキ、リンゴなどの重要害虫であるチャバネアオカメムシの越冬状況の調査結果をお知らせします。

本年2月上旬に山林の表層土を含んだ落葉を1地点あたり30リットル採取し、チャバネアオカメムシ成虫の越冬数を調査しました。調査は常陸太田市、笠間市、水戸市、小美玉市、銚田市、行方市、石岡市、つくば市、桜川市の合計42地点で行いました。

その結果、越冬成虫数（本年値0.7頭、平年値2.3頭）は平年並～やや少なく、越冬地点率（本年値31%、平年値41%）は平年並～やや低い状況でした（図）。また、越冬数が少ない年は、その年の4～7月の予察灯への誘殺数も少ない傾向があります。

これらのことから、越冬世代成虫の果樹園への飛来数（4～7月）は、平年並～やや少ないと予測されます。

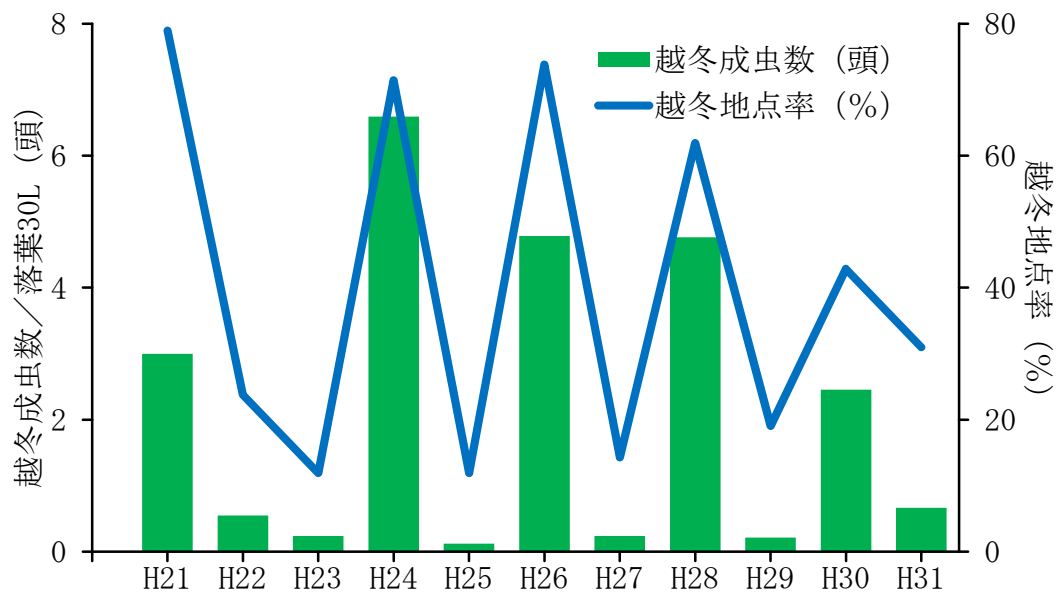


図 チャバネアオカメムシの越冬成虫数および越冬地点率の年次変動

病虫害防除所では、果樹カメムシ類について、予察灯調査（4～10月）や、サクラにおける発生量調査（5～6月）を行いますので、今後発表する情報に注意してください。

キュウリのミナミキイロアザミウマに対する有効薬剤について

ミナミキイロアザミウマは、キュウリの葉や果実を食害することに加え、メロン黄化えそウイルスを媒介し、キュウリ黄化えそ病を引き起こす重要害虫です。しかし、近年、多くの薬剤に対する感受性が低下し、防除に苦勞している事例も認められています。

そこで、園芸研究所および病害虫防除所では、平成30年産抑制キュウリの圃場6地点からミナミキイロアザミウマを採集し、雌成虫に対する各種殺虫剤の効果を室内で確認して有効薬剤を明らかにしました。

○アフーム乳剤

防除効果が安定して高かった。

○アグリメックおよびプレオフロアブル

多くの地点で効果があったが、効果の劣る地点もあった。

○その他

多くの地点で効果が低かった。

いずれの薬剤でも、使用後は効果を圃場でよく確認してください。

表 キュウリ圃場から採集したミナミキイロアザミウマ雌成虫に対する各種殺虫剤の効果¹⁾

殺虫剤名 ²⁾	(有効成分の種類)	IRAC ³⁾ コード	希釈 倍数 (倍)	採集地点					
				a	b	c	d	e	f
アグロスリン乳剤	(シベルメトリン)	3A	1,000	×	×	×	×	×	×
アドマイヤーフロアブル	(イミダクロプリド)		4,000	△	△	—	×	×	×
アルバリン顆粒水溶剤/ スタークル顆粒水溶剤	(ジノテフラン)	4A	2,000	△	△	○	△	×	△
モスピラン顆粒水溶剤	(アセタミプリド)		2,000	×	×	—	△	×	×
ディアナSC	(スピネトラム)	5	2,500	○	△	△	△	×	×
アフーム乳剤	(エマメクチン安息香酸塩)	6	2,000	◎	◎	◎	◎	◎	◎
アグリメック	(アバメクチン)		500	◎	○	◎	△	◎	○
コテツフロアブル	(クロルフェナビル)	13	2,000	×	×	×	△	×	×
ハチハチ乳剤	(トルフェンピラド)	21A	1,000	△	△	△	△	×	×
ベネビア0D	(シアントラニリプロール)	28	2,000	△	×	×	×	×	×
プレオフロアブル	(ピリダリル)	un	1,000	○	○	△	○	○	○

1) 効果の判定基準（「新農薬実用化試験実施の手引き（一般社団法人日本植物防疫協会）」を参考にした）

- ◎（効果は高い）：死虫率95%以上
- （効果はある）：死虫率70～95%
- △（効果は認められるがその程度は低い）：死虫率30～70%
- ×
- ×
-

2) 平成31年3月1日現在、キュウリのミナミキイロアザミウマ防除に使用できる薬剤

3) 殺虫剤抵抗性対策委員会（IRAC）により、殺虫剤の有効成分を作用機構によって分類し、コード化したもの

ミナミキイロアザミウマに対して有効な薬剤は地域にかかわらず少ないため、薬剤防除に依存せず、防虫ネットやUVカットフィルム、天敵を併用しましょう。

なお、今回の結果では効果が高かった薬剤でも、同じIRACコードの薬剤を連用することによって感受性が低下する可能性があります。そのため、IRACコードの異なる薬剤をローテーション散布してください。

II. 今月の気象予報

関東甲信地方1か月予報

(予報期間 3月23日から4月22日)

気象庁(3月21日発表)

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

[確率]

要素	予報対象地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信全域	30	40	30
降水量	関東甲信全域	40	40	20
日照時間	関東甲信全域	30	40	30

[概要]

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

<1週目の予報> 3月23日(土曜日)から3月29日(金曜日)

気温 関東甲信地方 平年並の確率50%

<2週目の予報> 3月30日(土曜日)から4月5日(金曜日)

気温 関東甲信地方 平年並の確率50%

<3週目から4週目の予報> 4月6日(土曜日)から4月19日(金曜日)

気温 関東甲信地方 平年並の確率40%

農薬を使用する際は

- 1 使用する農薬の「ラベル」と登録変更に関する「チラシ」等を必ず確認し、適用作物、使用方法、注意事項等を守りましょう。
- 2 散布時には、周辺作物に飛散(ドリフト)しないよう注意しましょう。
- 3 農薬の使用状況を正確に記録しましょう。
- 4 薬剤抵抗性の発達を抑えるため、作用機構分類^{*}(FRACコード, IRACコード)の異なる薬剤を用いてローテーション散布しましょう。

※作用機構分類については、病害虫発生予報5月号(平成30年4月26日発表)の防除所レポート参照

- 5 農薬の使用後は、散布器具やホース内等に薬液が残らないように良く洗浄しましょう。